

2020年4月17日

会員企業 各位

一般社団法人日本生産技能労務協会  
会長 青木 秀登

### 新型コロナウイルス危機を乗り越えましょう

日頃から会員企業の皆様には、当協会の事業運営に多大なご理解とご協力をいただいております。心から感謝申し上げます。

この度の新型コロナウイルスの感染拡大により、世界全体が大きな影響を受けており、本日より緊急事態宣言も全国に拡大しました。私どもの業界も多大な影響を受けており、会員企業の皆様方も雇用の確保、事業の継続にたいへん苦慮されていることと存じます。

皆様から寄せられる様々なお問い合わせや、当協会からお願いしている新型コロナウイルスによる影響調査の回答などから、皆様がスタッフの雇用を確保するために、最大限の努力を払われていることがひしひしと伝わってくる、と事務局より連絡を受けております。皆様の取組にあらためて感謝申し上げます。

今回の新型コロナウイルスは、リーマンショックの時とは異なり、感染がどこまで拡がり、いつ終息するのか、全く見通せず、私たちの業界にいつ頃まで、どのような影響を与えるかも予測できず、非常に難しい経営環境にあります。

しかし、この困難な状況も必ず終息します。そして、終息すれば、景気も回復します。

現在は、新型コロナウイルスにより、メーカーだけでなく、全ての産業が大打撃を受けておりますが、このような時だからこそ、私たちは、日本のものづくりを支え、雇用を守るために最大限の努力をし、社会的意義を再認識して、この危機を乗り越えることが必要だと考えております。

当協会としては、会員企業の皆様が適切かつ円滑に対応できるよう、新型コロナウイルス関連の各種情報を迅速にわかりやすくお届けするとともに、助成金の利用方法や休業の取扱い方など、様々な問い合わせにお応えし、現場での確に対応できるための支援に努めています。

また、早くから協会独自に影響調査を行って実情を把握し、行政に対して雇用調整助成金をはじめとする支援措置の要件緩和や手続きの簡素化、各種制度の弾力的

運用等を要請しております。これらのいくつかは実現していますが、さらなる改善を求めています。

さらに、行政のみならず、日本経済団体連合会（経団連）や日本労働組合総連合会（連合）など、労使団体にも働きかけ、派遣先に対し派遣労働者への特段の配慮等をお願いしております。

これらに加えて、マスクの共同購入や感染予防ハンドブックの配信など、引き続き、会員企業の皆様の要望に応え、健康と生活を守り、事業を継続するための支援を最大限行ってまいります。

12年前のリーマンショックの時には、「派遣切り」という言葉が社会的に大きく取り上げられました。当協会は、会員企業の皆様と一緒に、従来以上にコンプライアンスの旗を高く掲げて結集し、働く人からの信頼、顧客企業からの信頼、そして社会からの信頼を高めるための取組を10年余にわたって展開してまいりました。現在、行政や経済団体、労働組合などからいただいている信頼も、皆様方とともにやってきた活動の上に成り立っているものと理解しています。

目の前の困難は、途轍もなく大きいですが、このような時だからこそ、日本のものづくりを支え、雇用を守るために、最大限の努力をしましょう。私たちでなくてはできないことがたくさんあります。協会も皆様を支えるために、努力を惜しみません。

私は、リーマンショックの時、あるいは東日本大震災の時、同じ悩みを持つ会員企業同士での率直な情報交換やアドバイスで、互いに勇気づけられ、困難を乗り越えてきました。現在の環境下では、一同に集まって情報交換することはできませんが、メールや電話などで連絡をとりながら、大きな困難ではありますが乗り越えようではありませんか。

会員企業の皆様方におかれましては、いままでも様々な困難を乗り越えて、現在の事業を立派に運営されておられます。この目の前の困難も乗り越えて、また皆様にお目にかかり、各社の発展についてお話しする機会が、一刻も早く訪れますことを祈念しております。

関係者の皆様の健康と安全を第一に、一致団結して、新型コロナウイルス危機を乗り越えましょう。